



ニュースリリース 平成 25年 7月 2日



「いばらき絆ファンド」による茨城水産株式会社への融資について

株式会社常陽銀行（代表取締役頭取 寺門 一義）と株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 橋本 徹、以下「DBJ」という。）が共同で出資する「いばらき絆投資事業有限責任組合」（いばらき絆ファンド）は、茨城水産株式会社に対し、融資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、当ファンドにおける7件目の投融資案件となります。

当行とDBJは、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

【融資の内容】

ファンドの名称	「いばらき絆投資事業有限責任組合」（いばらき絆ファンド）
融資日	6月28日
資金使途	設備資金
融資先	茨城水産株式会社
所在地	茨城県水戸市
代表者	川崎 隆一
業種	水産物卸売・加工業
企業の概要	当社は、水戸市公設地方卸売市場内で水産物など食品全般の卸売りをおこなうほか、ひたちなか市の工場においてスモークサーモン量販店向けのアウトパック製品等の水産加工も手掛ける企業。
備考	本件は、被災地域の経済・雇用の中核たる水産物卸売業の早期の復旧・復興に資するため震災復興関連資金を供与するものであり、当ファンドの取り組み趣旨に合致するものとして、融資を実施いたしました。

※ファンドの詳細については、別紙をご参照願います。

【ファンドの概要】

- (1) 名称： いばらき絆投資事業有限責任組合
- (2) 規模： 50億円（当初）
- (3) 設立： 平成23年9月30日
- (4) 出資者： 無限責任組合員（GP）： (株)SFGパートナーズ
有限責任組合員（LP）： 常陽銀行、DBJ
- (5) 期間： 投資期間3年、存続期間10年（ただし、必要があれば、投資期間で2年以内、存続期間で5年以内の延長を行うこともあります。）
- (6) その他： 地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する当行と投融資一体型の金融サービスを提供するDBJとの連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興支援を図るため平成23年9月に設立。

【ファンドのスキーム図】

